

第8次沖縄県医療計画(案)へのご意見に対する県の考え方

| 分野 | ページ | 行番号 | ご意見 | ご意見に対する県の考え方 |
|----------------|-----|-----|--|--|
| 第4章 4 糖尿病対策 | 105 | 17 | <p>【文章追加】(図3の後に追加)また、近年増加している「CKD(慢性腎臓病)」についても人工透析に移行するリスクがあります。糖尿病性腎症は広義にはCKDに含まれ、相互に関係する疾患であることからCKDが増加していることについても注意が必要です。</p> <p>【理由】国は、「第8次医療計画作成の手順」(医政発0526第8号『医療計画について』厚生労働省)のなかで、「慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病(CKD)、ロコモティブシンドローム、フレイル、肺炎、大腿骨頸部骨折等については、5疾病に当たらないものの、健康増進施策等の関連施策等との調和を図りつつ、対策を講じることが必要であること。」と明記している。つまり、国は、「都道府県の策定する「地域医療計画」にCKD対策を明記する」ことを求めていると考えられる。九州地方各県の医療計画の策定状況をみると、九州7県が策定している保健医療計画(第8次)にはすべてCKDの記述があると認識している。こうしたことから沖縄県においてもCKD対策の必要性について明記することを提案するものであります。</p> | <p>以下のとおり追記します。</p> <p>また、糖尿病性腎症は広義には慢性腎臓病(CKD)に含まれます。慢性腎臓病(CKD)患者は近年増加傾向にあり、進行すると人工透析が必要になることから、重症化を予防することは重要な課題となっています。</p> |
| 第4章 4 糖尿病対策 | 105 | 19 | <p>【文章追加】(「全国第6位となっており、」と「重症化予防」の間に追加)糖尿病性腎症を含めたCKDから透析導入への移行は生活の質及び医療経済への影響が大きいことから</p> <p>【理由】上記と同様の理由でCKDにかかる文章の追加を提案しています。</p> | <p>以下のとおり修正します。</p> <p>人工透析になると、生涯にわたり、週2～3回、医療機関で長時間の透析を受けなくてはならず、患者の身体的、時間的な負担や制約も大きく、多額の医療費も必要となることから、日常生活に大きな影響を及ぼします。</p> |
| 第4章 4 糖尿病対策 | 110 | 27 | <p>【文章追加】(「重要です。」の後に追加)併せてCKDについても、糖尿病性腎症と密接に関係があり、人工透析移行のリスクが高いことから重症化を予防するために啓発及び対策を講じていきます。</p> <p>【理由】上記と同様の理由であり、CKDもまた人工透析リスクが高く、また、糖尿病及び高血圧との関連性も高いことからここで明記する必要があると考えて提案しています。</p> | <p>以下のとおり修正します。</p> <p>糖尿病性腎症重症化予防プログラムに係る箇所に記載 本プログラムにおける連携方法を活用して、重症化予防および普及啓発に取り組んでいきます。</p> |
| 第4章 4 糖尿病対策 | 113 | 31 | <p>【文章追加】また、近年増加傾向にあるCKDに関しても人工透析へのリスクが懸念されることから重症化予防の徹底を図っていきます。</p> <p>【理由】上記と同様の理由での提案です。以上、総括させていただくと、全国47都道府県中32道県(2月2日現在)にて次期保健医療計画にてCKDに言及し、むこう6年の間CKD対策を検討していこうとしています。こうした流れに鑑みると、沖縄県においても他県の後塵を期すことなく適切な時期に適切にCKD対策を実施することが県民の利益に資すると考えます。ぜひともCKDについて医療計画において言及されるよう強く望むものであります。</p> | <p>以下のとおり修正します。</p> <p>P14糖尿病性腎症重症化予防プログラムに係る箇所に記載 また、近年増加傾向にある慢性腎臓病(CKD)についても、本プログラムにおける連携方法を活用して、重症化予防および普及啓発に取り組んでいきます。</p> |